

長岡工業高等専門学校		開講年度	令和04年度 (2022年度)		授業科目	総合英語	
科目基礎情報							
科目番号		0003		科目区分		一般 / 選択	
授業形態		講義		単位の種別と単位数		学修単位: 2	
開設学科		専攻科一般科目		対象学年		専1	
開設期		1st-Q		週時間数		4	
教科書/教材		Best Practice for The TOEIC L&R Test -Intermediate- (SEIBIDO)					
担当教員		占部 昌威					
到達目標							
(科目コード：A0120 英語名：Comprehensive English) この科目は長岡高専の教育目標の (E) と主体的にかかわる。各到達目標と長岡高専の学習・教育到達目標との関連を、到達目標、教科の重み、学習・教育目標との関連の順で次に示す。① 与えられた課題について読み取りや聞き取りができ、問題を正確に解くことができる知識・技能を修得する ② 与えられた課題について聞いた音を正確に書き取ることができる知識・技能を修得する ③ 与えられた課題について聞き取った音を正確に発音することができる							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		最低限の到達レベルの目安		未到達レベルの目安
評価項目1	与えられた課題について読み取りや聞き取りができ、問題を正確に解くことができる知識・技能を修得している		与えられた課題について読み取りや聞き取りができ、問題を概ね正確に解くことができる知識・技能を修得している		与えられた課題について読み取りや聞き取りができ、問題を解くことができる知識・技能を修得している		左記に達していない
評価項目2	与えられた課題について聞いた音を正確に書き取ることができる知識・技能を修得している		与えられた課題について聞いた音を概ね正確に書き取ることができる知識・技能を修得している		与えられた課題について聞いた音を書き取ることができる知識・技能を修得している		左記に達していない
評価項目3	与えられた課題について聞き取った音を正確に発音することができる		与えられた課題について聞き取った音を概ね正確に発音することができる		与えられた課題について聞き取った音を発音することができる		左記に達していない
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	英語によるリーディングやリスニングを行う上で必要とされる知識・技能（スキミング・ディクテーション・シャドーイング)について学習する。						
授業の進め方・方法	リーディングにおいては、実践演習を通して、読解力を向上させつつ、速く読む活動を行う。リスニングにおいては、実践演習の中でディクテーション（書き取り)を行い、リスニングの基礎力を高める活動を行う。この授業は学修単位科目のため、授業外学習として、「週ごとの到達目標」欄にある課題等を事前もしくは事後に行うことが必要です。						
注意点	TOEICスコアの向上を目的としているため、授業中及び授業外（課題等）での主体的・自主的な活動への参加が求められる。また、英語の音声の特徴を意識し、常に意欲的に取り組むことが要求される。						
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容			週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	シラバス説明 Reading ストラテジー Listening 学習方法			左記を理解する.	
		2週	Reading 文法・語法・語彙 / スピード Listening ダイアログ・モノログの特徴 Unit 1 Restaurants			左記を理解する Task unit2	
		3週	Unit 2 Review Unit 3 Business			左記を理解する Task unit4	
		4週	Unit 4 Review Unit 5 Business			左記を理解する Task unit6	
		5週	Unit 6 Review Unit 7 Business			左記を理解する Task unit8	
		6週	Unit 8 Review Unit 9 Business			左記を理解する Task unit10	
		7週	Unit 10 Review Unit 11 Business			左記を理解する Task all units	
		8週	総復習 前期末試験			既習事項の総復習 試験時間：50分	
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標		到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	聞き手に伝わるよう、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話できる。		4	
				明瞭で聞き手に伝わるような発話ができるよう、英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用できる。		4	
				中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要となる英語専門用語を習得して適切な運用ができる。		4	
				中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。		4	

			英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。	4	
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。	4	
				説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。	4	
				平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	4	
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。	4	
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。	4	
				実際の場面や目的に応じて、基本的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト)を適切に用いることができる。	4	
			英語運用能力向上のための学習	自分の専門分野などの予備知識のある内容や関心のある事柄に関する報告や対話などを毎分120語程度の速度で聞いて、概要を把握し、情報を聞き取ることができる。	4	
				英語でのディスカッション(必要に応じてディベート)を想定して、教室内でのやり取りや教室外での日常的な質問や応答などができる。	4	
				英語でディスカッション(必要に応じてディベート)を行うため、学生自ら準備活動や情報収集を行い、主体的な態度で行動できる。	4	
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、教室内外で英語で円滑なコミュニケーションをとることができる。	4	
				関心のあるトピックについて、200語程度の文章をパラグラフライティングなど論理的文章の構成に留意して書くことができる。	4	
				関心のあるトピックや自分の専門分野のプレゼン等にもつながる平易な英語での口頭発表や、内容に関する簡単な質問や応答などのやりとりができる。	4	
				関心のあるトピックや自分の専門分野に関する論文やマニュアルなどの概要を把握し、必要な情報を読み取ることができる。	4	
				英文資料を、自分の専門分野に関する論文の英文アブストラクトや口頭発表用の資料等の作成にもつながるよう、英文テクニカルライティングにおける基礎的な語彙や表現を使って書くことができる。	4	
				実際の場面や目的に応じて、効果的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト、代用表現、聞き返しなど)を適切に用いることができる。	4	
	工学基礎	グローバルゼーション・異文化多文化理解	グローバルゼーション・異文化多文化理解	それぞれの国の文化や歴史に敬意を払い、その違いを受け入れる寛容さが必要であることを認識している。	4	
				様々な国の生活習慣や宗教的信条、価値観などの基本的な事項について説明できる。	4	
				異文化の事象を自分たちの文化と関連付けて解釈できる。	4	
分野横断的能力	汎用的技能	汎用的技能	汎用的技能	日本語と特定の外国語の文章を読み、その内容を把握できる。	4	
				他者とコミュニケーションをとるために日本語や特定の外国語で正しい文章を記述できる。	4	
				他者が話す日本語や特定の外国語の内容を把握できる。	4	
				日本語や特定の外国語で、会話の目標を理解して会話を成立させることができる。	4	
				円滑なコミュニケーションのために図表を用意できる。	4	
				円滑なコミュニケーションのための態度をとることができる(相づち、繰り返し、ボディランゲージなど)。	4	
				他者の意見を聞き合意形成することができる。	4	
				合意形成のために会話を成立させることができる。	4	
				グループワーク、ワークショップ等の特定の合意形成の方法を実践できる。	4	
				収集した情報源や引用元などの信頼性・正確性に配慮する必要があることを知っている。	4	
				情報発信にあたっては、発信する内容及びその影響範囲について自己責任が発生することを知っている。	4	
				情報発信にあたっては、個人情報および著作権への配慮が必要であることを知っている。	4	
				目的や対象者に応じて適切なツールや手法を用いて正しく情報発信(プレゼンテーション)できる。	4	
				あるべき姿と現状との差異(課題)を認識するための情報収集ができる。	4	
				課題の解決は直感や常識にとらわれず、論理的な手順で考えなければならないことを知っている。	4	
				グループワーク、ワークショップ等による課題解決への論理的・合理的な思考方法としてブレインストーミングやKJ法、PCM法等の発想法、計画立案手法など任意の方法を用いることができる。	4	
				どのような過程で結論を導いたか思考の過程を他者に説明できる。	4	
				適切な範囲やレベルで解決策を提案できる。	4	
				事実をもとに論理や考察を展開できる。	4	

				結論への過程の論理性を言葉、文章、図表などを用いて表現できる。	4	
	態度・志向性(人間力)	態度・志向性	態度・志向性	他者のおかれている状況に配慮した行動がとれる。	4	
				自身の将来のありたい姿(キャリアデザイン)を明確化できる。	4	
				キャリアの実現に向かって卒業後も継続的に学習する必要性を認識している。	4	
				高専で学んだ専門分野・一般科目の知識が、企業や大学等でどのように活用・応用されるかを説明できる。	4	
				コミュニケーション能力や主体性等の「社会人として備えるべき能力」の必要性を認識している。	4	
	総合的な学習経験と創造的思考力	総合的な学習経験と創造的思考力	総合的な学習経験と創造的思考力	公衆の健康、安全、文化、社会、環境への影響などの多様な観点から課題解決のために配慮すべきことを認識している。	4	

評価割合

	試験	小テスト	課題	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	60	25	15	0	0	100
基礎的能力	60	25	15	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0